

これまでの講師派遣先や 事業連携・協力をいただいた機関・団体

全国各地の自治体(防災・危機管理担当、人権・男女共同参画関担当など)、消防機関、東日本大震災の被災地域の各男女共同参画(女性)センターや復興支援団体、全国女性会館協議会や全国各地の女性関連施設、災害支援にかかわる市民団体(JCN、JCC2015ほか)、自主防災組織、民生・児童委員協議会、社会福祉協議会(ボランティアセンター)、消防団、女性消防団、女性防火クラブ、赤十字奉仕団など。

なお2014年度は、国際協力NGOオックスファム・ジャパン、アメリカズの協力のもと、東北各地での人材育成支援に取り組んでいます。

約130か所に講師を派遣(2014年度)

メンバーは、これまで15の自治体や男女共同参画(女性)センターで、防災関連計画やマニュアル、パンフレット作りなどをお手伝いしています



男女一緒に避難所運営を話しあうワークショップ

災害とジェンダー
トレーナー養成研修
修了生



団体プロフィール

災害時には、性別や年齢、障害・病気の有無や程度、国籍・母語といった、被災者の多様性に応じた支援が必要ですが、日本ではそうした対策が遅れています。特に防災現場での男女共同参画の遅れ(指導的立場やリーダー層への女性の参画不足)は、被災者支援の質全体を低下させることにつながってしまいます。女性・子どもへの暴力、男性の過労や孤立・孤独死といった問題にも備えておく必要があります。

減災と男女共同参画 研修推進センター(GDRR)は、東日本大震災を契機に2011年に立ち上がった東日本大震災女性支援ネットワークの研修プロジェクトが母体となっています。女性・子ども・高齢者などが厳しい環境に置かれるなか、支援者や被災地で復興を担う方たちに、男女共同参画・多様性配慮の視点を持っていただけるよう、研修や教材の開発等に取り組んできました。同ネットワークが2014年3月に発展的に解消したのに伴い、減災と男女共同参画 研修推進センターとして新たに団体を立ち上げました。講師派遣、研修・講座の企画運営支援、教材開発などに取り組んでいます。

連絡先

減災と男女共同参画 研修推進センター

<http://gdr.org/>

〒113-0023 東京都文京区向丘 1-7-8

TEL&FAX 03-3830-5285

e-mail contact@gdr.org

*常駐スタッフがいないため、できるだけメールでご連絡ください。
お電話・FAXの場合、数日間ご連絡にお時間を頂く場合がございます。

このパンフレットは、国際協力NGO
オックスファム・ジャパンの支援で
作成しました。



GDRR

減災と男女共同参画 研修推進センター

Training Center for
Gender &
Disaster Risk Reduction

引き出そう!
あなたの地域の防災力!

地域防災や人権問題の
専門家がお手伝いします!

たとえば・・・

- 「地域防災活動の担い手が高齢者ばかり」
- 「若い人も参加しやすい防災活動を考えたい」
- 「女性の防災リーダーを育てたい」
- 「障害者・赤ちゃん・少年少女・外国人など、多様な人たちと一緒に防災を考えたい」
- 「災害時の人権問題に備えておきたい」

